

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	視機能の維持と健康寿命の延伸を可能とするアイケアの確立				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	三沢 萌伽
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	三沢 萌伽

講演題目	アイケアに関する文献レビュー —アイケアの対象と方法について—
------	---------------------------------

**研究の目的、成果及び今後の展望**

【目的】本研究の目的は、アイケアの方法と効果を検証し、視機能の維持と健康寿命の延伸を可能とするアイケアを確立することである。令和5年度は、「アイケアの実態把握」および「アイケアのエビデンスの確立」に向けた基礎的資料とするため、アイケアの国内外の既存の文献をレビューした。近年、ドライアイの発症と睡眠異常や主観的幸福度の低下、抑うつ症状の併発の関連性が明らかになっている。また、日本眼科啓発会議は、加齢に伴って視機能が低下した状態を示す「アイフレイル」という概念を提唱した。アイフレイルは身体的フレイルの一部であり、高度な視機能障害に陥ると、自立機能は大きく制限される。アイフレイルは他のフレイルに影響を及ぼし、これらを加速的に悪化させることによっても健康寿命を短縮させると考えられている。眼表面障害の発症予防や改善を目的に、日常生活援助の一部として看護師がアイケアを実施しているがエビデンスの確立には至っていない。アイケアをすることで眼表面障害の発症予防や改善だけでなく、QOLの向上にもつながると推察される。アイケアの方法と効果の検証を行い、エビデンスを確立させ、アイケアの意義を見出し普及させていくことが課題と考える。

【成果】医学中央雑誌Web版、PubMed、を用いて、英語または日本語の文献を検索し、重複等を除外して研究目的に該当する原著論文を対象とした。当初は、過去10年間で検索したが、医学中央雑誌Web版にて対象となる文献が無かったため、発行年は限定せずに検索した。医学中央雑誌Web版では「アイケア」「eye care」をキーワードに検索をし、PubMedでは「eye care」で検索し数多く検出されたため「ocular surface」を加えて検索した。最終的に13件の文献を対象とした。結果、いずれの文献もアイケアの対象は、集中治療を必要とする患者であった。その方法は、点眼薬の投与後に閉瞼するものが多かった。閉瞼する時に使用する物品はポリエチレンカバー、角膜保護用テープ、絆創膏、ガーゼなど文献ごとに異なるものの、1990年代以降、方法に大きな変化はなかった。近年は涙液の質が注目されており、マイボーム腺開口部の清潔を保つことが必要であるとされているが、そこに着眼している文献はなかった。また、健常者を対象とした予防的なアイケアについて述べた文献はなかった。

【展望】健常者を対象とした予防的なアイケアに関しては、「アイケア」「eye care」というキーワードにより検索される文献が限局されていた可能性があるため、検索キーワードを変更して改めて文献レビューをする。加えて、目の健康に関する意識や関心も含めて、健常者が日常的に目の健康のために行っているケアについての実態調査をしていく。